

名古屋大学留学生相談室（740号室）活動報告

高 木 ひ と み

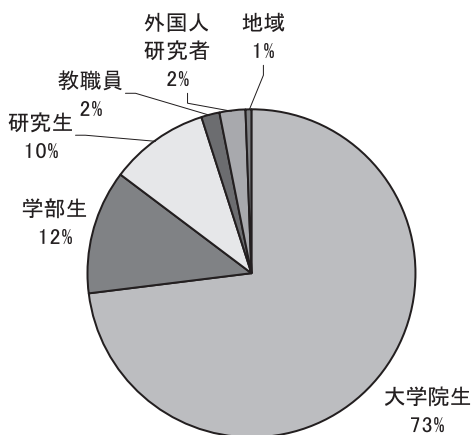
はじめに

2007年度は留学生相談室の利用が促進されるよう、身近な留学生相談室を目指してこれまでの教育活動に加えて、新しい学生支援の取組みや留学生相談室の広報活動を実施した。具体的には、留学生相談室内での個別相談だけではなく、発信型の学生支援を目指し、新たに協力する授業を増やし、学生と接する機会を創出した。また授業以外の教育プログラムとして「国際交流ワークショップ」の開催、チューターのためのランチ・ミーティングの開催、留学生のための就職支援ガイダンスの開催などに取り組んだ。広報活動としては、留学生相談室や国際交流活動リーフレットの作成などを行い、留学生相談室の役割や教育プログラム紹介を充実させた。留学生相談室の利用者は学生だけではなく、留学生を支える教職員にも広がるよう、新し

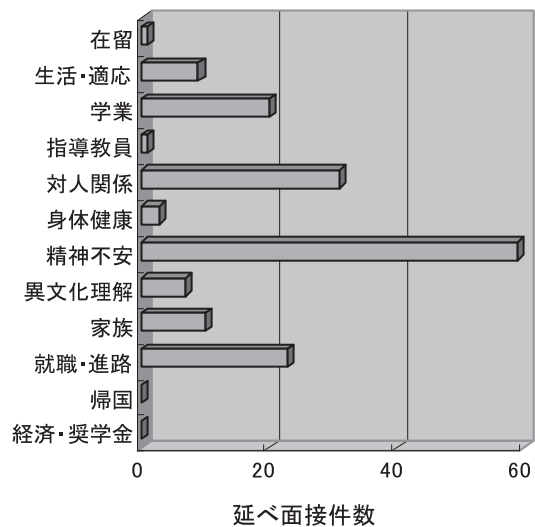
く教職員のための勉強会を始め、また学内外における国際教育関連のSD・FDの機会にも積極的に協力した。本報告では2007年度の活動を1)相談活動、2)発信型の学生支援：予防と国際教育プログラム、3)広報活動、4)セミナー、地域連携、教職員のための研修・教育活動の4つに分けて報告する。

2007年度の留学生相談室での活動を振り返り、発見したことは、多くの相談活動や教育プログラムは留学生相談室の力だけでは行えなかったという点である。学内における教職員のサポート、他部局との連携、学内外の専門家との連携、学生の活躍や貢献を得ることができて実施できたものばかりである。今後も協力くださる方々の力を借りながら、名古屋大学における留学生支援や国際教育交流活動に取り組んでいきたいと思う。

2007年度
相談依頼者の所属等



2007年度
個別相談件数



I. 相談活動

2007年度は週に6～7コマの相談時間を設け、個別相談（アドバイジング／カウンセリング）を行った。延べ面接件数は164件であった。平均面接時間は約1時間であり、言語使用の比率は、日本語は約60％、英語は約40％であった。（面接件数には学生相談総合センター兼任相談員として対応した面接も含める。）昨年度に比べると、面接件数は約1.6倍に増えている状況である。学年別相談傾向としては、大学院生が最も多く（73％）、次に学部生（12％）、研究生（10％）であった。月別の来談傾向としては、10月の相談件数が最も多く（25件）、後期が始まる時期に新学期に向けて学業や精神面において、不安感を抱き、来談する傾向が見られた。

情報提供やガイダンス的な内容に関する相談は、学生本人が気軽に来室するケースが多かったが、カウンセリングを必要とする相談に関しては、学内の教職員が、留学生相談室に問い合わせたり、学生に留学生相談室に行くよう勧めたりして、後日、学生が来談するケースが多く見られた。学内の諸機関からの問い合わせや相談は年々増えており、留学生相談室の存在や機能の認知が高まっているといえる。さらに「カウンセリング」という支援活動に慣れてない文化背景を持つ留学生がいる中で、関係の近い教職員の方々が架け橋となっており、留学生が留学生相談室を利用できるよう援助いただくことは全学対応の留学生相談室としては大変心強い協力や連携だといえる。

1. 相談内容

個別相談の延べ面接件数164件のうち、相談内容は精神不安に関するものが最も多く（59件）、次に対人関係（31件）、就職・進路（23件）、学業（20件）家族（10件）、生活適応（9件）、国際交流（7件）などの相談内容が多かった。

【精神不安】

精神不安のケースでは、日本での留学生活・異文化体験という面からストレスが生じ、不安定状態やうつ症状が見られたり、また元々抱えている心理面での課題や精神病を抱える学生の対応が多かった。継続的に医療も必要とするケースでは、学生が保健管理室で精

神科医による診察、留学生相談室ではカウンセリングを受けられる体制で、継続的な支援を行った。

【対人関係】

対人関係に関する相談内容では、クラスでの友人作り、グループ学習での人間関係、クラブ・サークルでの関係作り、研究室内での人間関係やコミュニケーション、指導教員との関係作り、恋愛上の関係、ルームメイトとの関係など、学内外における人間関係の心理的問題を扱うケースが多かった。特に留学生と日本人との間で起こる問題は、双方の文化に対する知識や理解が必要とされ、相談に来る留学生に日本の文化、日本人の言動の心理的背景、研究室文化等を伝えながら、日本という社会において、ただ適応するだけではなく、受け入れられる形でアサーティブに自分自身の意見等が伝えられるよう、また問題が解決できるよう心理教育的なアプローチを用いて支援した。

【進路・就職】

就職や進路に関しては、留学生だけでなく、日本人学生からの相談も多く見られた。留学生に関しては、「卒業後は日本に残るか、母国へ帰るか」、といった相談から、具体的な就職活動に関わる相談、進学に関する相談などが見られた。また日本人学生からは、国際分野で仕事するためにどのようなキャリア・パスが考えられるかというようなグローバルに活躍したい学生の相談が多かった。

【学業】

学業に関しては、履修、勉強・研究方法、タイム・マネージメント、研究生の大学院入試再受験の試験対策、大学院生の研究へのモチベーションの継続、研究テーマの変更等の相談が見られた。1回～数回の情報提供的なガイダンスで相談が修了するケースだけでなく、学業面において問題や課題を抱え続けると、精神的に不安定になる学生も多く、継続的な相談を必要とするケースが多かった。

【家族】

家族に関する相談では、留学中の出産、学生生活と家庭生活の両立、子どもの育児・教育、子どもの健康、配偶者の日本での生活適応、夫婦関係などに関わる内容が多かった。家族を支える上で必要な名古屋市内の

情報提供（病院・学校・保育園・区役所の役割）、また継続的な面談を通して留学生活中の家族の生活適応と関わりを支援した。

【国際交流】

国際交流に関わる相談では、留学生、日本人学生からの相談が見られた。双方の学生とも、学内外において国際交流に関われる機会に関する情報や機会を知りたいという相談が多かった。学生に様々な国際交流・異文化体験の機会を紹介するなど情報提供やガイダンス的な内容の相談を行った。また学内においても国際交流に関わるプログラムや授業などに参加するよう勧め、参加した際には声をかけ、継続的に国際交流に関する関心が、体験、そして学びへと繋がるよう教育的支援を進めた。

2. 学生相談総合センター・保健管理室との連携

2007年度も、保管理室や学生相談総合センターの教職員の方々との連携に支えられながら、特に留学生相談活動を行うことができた。特に保健管理室で行われている東山症例研究会（ケース検討会）を通して、留学生のメンタルヘルス相談に関する連携や留学生相談・支援の内容を強化する助言をいただくことができ、留学生相談室の機能を高めることにつながっている。また学生相談総合センターの兼任相談員（多文化間カウンセリング）を担当していることにより、学内外の

学生相談に関わる教職員とのネットワークが広がり、貴重な人的ネットワークのリソースを構築することができている。今後もさらに、連携しながら、幅広い留学生や一般学生の支援を行っていきたいと考えている。

Ⅱ. 発信型の学生支援: 予防と国際教育プログラム

本年度は、留学生・日本人学生共に、留学生相談室を身近に感じられるよう、国際教育交流の教育機会に参加しやすくなるよう、授業やプログラムやオリエンテーションの幅を広げて学生の参加を促すことにつとめた。また多文化間ディスカッショングループ、スモールワールド・コーヒーアワーのプログラムでは、学生の力によって、本年度も大きな発展を遂げることができた。全学同窓会大学支援事業助成金や留学生支援事業や留学生後援会の支援により留学生相談室の教育プログラムを強化することが可能となった。

1. 多文化間ディスカッショングループ

2007年度は、学生ファシリテーターの協力により、5つの多文化間ディスカッショングループを開催することができ、参加者は計47名（留学生28名、日本人学生19名）であった。ファシリテーターは、過去の多文化間ディスカッショングループ参加学生、国際交流に関心のある、または国際教育交流分野を専攻する大学院生、留学生相談室スタッフなどが担当した。言語は日

2007年度多文化間ディスカッショングループ

2007年度前期	
日本語グループ (継続グループ)	2007年5月16日～6月27日、計7回 留学生6名、日本人学生3名、ファシリテーター（古賀恵美、鄭玉琪） 主なテーマ：外国人からみる名古屋、ユーモア、ジェスチャー、国ごとの恋愛観、私の夢
英語グループ (大学院生中心グループ)	2007年6月19日～7月17日、計5回 留学生3名、日本人学生5名、ファシリテーター（竹元順一、Heng Molyaneth） 主なテーマ：食文化、友情と大学生活、人生で大切なもの、人間関係を維持する上で大切なこと
英語グループ (学部生中心グループ)	2007年6月19日～7月17日、計5回 留学生5名、日本人学生3名、ファシリテーター（齋藤さくら、高木ひとみ） 主なテーマ：母国や日本の好きなど、世界の慣習・マナー、人生で大切なもの
2007年度後期	
日本語グループ	2007年12月13日～2008年1月31日、計6回 留学生7名、日本人学生3名、ファシリテーター（鈴木綾希子、桑進介） 主なテーマ：夢、世界のマナー、趣味、恋愛・バレンタイン、プロポーズ
英語グループ	2007年12月11日～2008年1月29日、計6回 留学生7名、日本人学生5名、ファシリテーター（村上瑞紀、齋藤さくら） 主なテーマ：国による年末年始の過ごし方、各国の大学生生活、友達との時間の過ごし方、身近に感じる日本文化

本語や英語をそれぞれ主に使用するグループを実施したが、中には、通訳や要訳がいる際に、ジェスチャーを用いてその必要性を伝え合い、途中から自然と、日本語も英語も用いる日・英併用グループとなったグループも存在した。今後は、より多文化間ディスカッショングループの発展を目指して、言語使用面での工夫、グループ活動内容の充実化、学生ファシリテーターの確保と育成などを、学生ファシリテーターや教職員などの力と共に、開発を進めていきたいと検討している。

2. スモールワールド・コーヒーアワー

本年度のスモールワールド・コーヒーアワーも、学生ボランティアによって多大な発展を遂げることができた。回を重ねる度に、学生ボランティアたちは改善点等を活かして、様々なアイデアを企画に盛り込んでいった。後期からはコーヒーアワーの周知活動も兼ねて、短期留学部門が実施しているヘルプ・デスクと連携し、Welcome Coffee Hour を開催した結果、コーヒーアワーの参加者はさらに増え、コーヒーアワーを通して、異文化体験、国際交流、学内ネットワーク構築の場を学生たちが主体的に創り提供することができている。ヘルプ・デスクなど、他のプログラムとの連携により相乗効果が生まれることに繋がり、今後も他のプログラムやサークルなどとの連携を通して、共に活動が発展していくよう続けていきたい。コーヒーアワー等に国際交流にかかわる学生を対象に本年度は国際交流に関するワークショップ（次項参照）や愛媛大学での学生が学生を支援するシンポジウムへの学生参加を実施したが、来年度は、学生ボランティアがさらに充実した国際交流プログラムを提供できるよう、国際交流のコーディネーター研修講座を提供していきたいと考えている。

2007年度スモールワールド・コーヒーアワー

日時	テーマ	参加人数
5/18	Enjoy ナゴヤ～生活ナビゲーション～	約50名
6/22	リラックスしましょう！	約35名
7/18	聞きたい・知りたい・話したい！	約20名
10/19	Welcome Coffee Hour	約70名
11/19	Enjoy ナゴヤ～生活ナビゲーション～	約60名
12/14	おにぎり Hour	約60名
	計	約295名

3. 国際交流ワークショップ「もっともっと国際交流：名古屋大学でできること」

全学同窓会大学支援事業の助成金により、国際交流に関心のある学生を対象に、キャンパスの国際交流の促進を目指したワークショップを10月12日（金）に開催し、20名の学生が参加した。今回のワークショップは講師3名で実施し、学生が国際交流や異文化理解に対する気付きを深め、より主体的に国際交流活動を行っていけるよう研修プログラムを企画した。

参加学生からは、「国際交流に対する固定観念がよい意味で壊された。国際交流に対する意識の高い人と意見交換でき、刺激になった」、「すべてが想像を超えていた。いつもは一方的になりがちで、なかなか話せないということも今日は共有することができた」、「同じ関心を持った仲間と意見や情報を交換できて良かった」などの声が聞かれた。今回のワークショップを通して、学生の国際交流に対するアイデアや意見、留学生相談室や留学生センターに対する声を聞く機会となり、教職員にとってもより良い学生支援を目的とした国際交流プログラム作りやセンターや相談室の在り方について考えさせられる貴重な機会となった。学生の国際交流活動はキャンパスの国際化に多大な貢献をしており、学生の活動をサポートするため、今後も様々な研修や授業等、教育機会を提供していきたいと考えている。

「もっともっと国際交流：名古屋大学でできること」ワークショップ（2007年10月12日）

ファシリテーター	一橋大学商学研究科講師 阿部仁、名古屋大学留学生センター准教授 堀江未来・講師 高木ひとみ
プログラム内容	①フレームゲーム（ブレイン・ストーミングゲーム）「キャンパスの国際交流で自分は何を目指すのか、または何を徳たいのか？」 ②異文化理解アクティビティー「自分自身の中にある文化的な枠を発見しよう！」 ③全体ディスカッション「より多くの学生が参加しやすい国際交流活動とは？」

4. オリエンテーション活動

本年度はこれまで行ってきた全学新入留学生のためのオリエンテーションや国際唼鳴館入居オリエンテーションでのガイダンスに加えて、留学生担当教員が配置されていない3部局（教育・情報・環境）の新入生ガイダンスにおいて、留学生相談室、留学生担当教員（アドバイザーやカウンセラー）の役割や国際交流活動紹介について紹介し、留学生が留学生相談室を身近に感じながら支援を受けやすくなるよう情報を提供した。

【新入留学生オリエンテーション】

全学新入留学生のためのオリエンテーションでのガイダンス

- 4/10 「異文化適応について」（日本語・英語）
- 10/11 「異文化適応について」（日本語・英語）

【国際唼鳴館オリエンテーション】

国際唼鳴館入居オリエンテーションでのガイダンス

- 4/11 「国際唼鳴館での共同生活」（日本語・英語）
- 9/26 「異文化適応と多文化環境での友達作り」（日本語・英語）

【新入生ガイダンス】

学部・研究科の新入生ガイダンスでの留学生相談室案内・国際交流活動紹介

- 4/6 情報科学研究科新入生ガイダンス
- 4/9 教育学部留学生ガイダンス，環境学研究科新入生ガイダンス

5. 授業

本年度は、より多くの学生と授業を通して関わりながら、間接的な学生支援を提供できるよう、さらに留学生センター教員が開講する授業への協力を通して、国際教育関連授業の教育方法や活動を学べる機会を増やせるよう、5つの授業を担当した。

2007年度 前期：

- ・基礎セミナー「多文化社会を生きる」（代表：松浦まち子）
- ・基礎セミナー「世界の学生生活」（代表：田中京子）
- ・NUPACE 授業，開放科目（英語）「多文化環境における人間関係とコミュニケーション」（代表：堀江未来）

2007年度 後期：

- ・教養科目「留学生と日本」（代表：浮葉正親）
- ・NUPACE 授業，開放科目（英語）「多文化理解とコミュニケーション」（高木ひとみ）

授業での学生との関わりを通して、毎年少しずつ変化する学生の特性やニーズを知ることができ、さらに留学生相談室や留学生センターの役割や活動を周知する機会にもなり、留学生相談担当が授業を担当することは、学生にとっても教員にとってもより良い教育支援を行うために果している役割は大きいといえる。

6. 留学生のための就職支援プログラム

留学生相談室から申請した留学生支援事業が採用され、本年度から「留学生のための就職支援ガイダンス」を開催することができた。就職支援に関しては、留学生相談担当者にとっても専門的な知識・経験等が問われ、より良い就職支援プログラムを提供するために、まずは留学生相談室の松浦まち子氏と共に、他大学の取組みを学び（東北大学経済学部）、学内の就職支援室との連携を高めていくことから始めた。本年度は初めての試みということで4回のガイダンスをパイロット的に開催した。

2007年度留学生のための就職ガイダンス

日時	テーマ
1/18	「留学生就職支援ガイダンス（基礎編）」 名古屋外国人ジョブセンター 後藤文吾氏
1/25	「就職活動のための日本語フレーズ講座」 名古屋大学大学院生 服部明子氏
2/21	「留学生就職支援ガイダンス（実践編）」 名古屋大学学生相談総合センター助教 船津静代氏・就活サポーター
2/23	「本音で語ろう日本での就職！」 先輩学生によるパネル・ディスカッション

参加者からは、日本での就職活動について情報や姿勢を学ぶことができ役立ったという声が聞かれ、さらに主催側も学ぶことや留学生就職関連に関わるネットワークを構築することができ、初年度として得るものが大きいプログラムとなった。

留学生のための就職・キャリア支援を行うということは、留学生が内定を取得するという結果だけに留まらず、卒業後や将来へのビジョンを持って、学生生活

を送ることに繋がるため、学生の心理面に良い影響が生まれると期待できる。しかしながら、日本の早い就職活動のスケジュールは、日本で留学生を送る留学生にとって負担になることも考えられ、これらの双方のバランスを検討しながら、留学生の就職支援に関わる学内外の専門家等と連携しあい、より充実したプログラムを提供できるよう進めていきたい。

7. チューターのためのランチ・ミーティング

本年度の新しい取り組みとして、留学生センター相談室、短期留学部門（NUPACE）、留学生相談室と共同でチューター活動支援の一環として「チューターのためのランチ・ミーティング」を2回開催した。1回目は留学生相談室、2回目は短期留学部門が主に企画を考え、ランチを囲みながら、チューター活動をする上での情報交換できる場を提供した。チューター活動に関わっている学生たちは他のチューターと情報・意見交換することができ、チューター活動に対する理解を深める機会となったようである。また、ランチ・ミーティングは、チューター活動を行っている学生間の横のつながりを築くだけでなく、チューター活動を支える教職員にとっても学生のチューター経験やニーズを聞く機会となり、今後のチューター活動を充実させていく上で、貴重な役割を果たした。今後も引き続き、チューターのためのランチ・ミーティングを開催していき、よりよい形で、学内において学生が共に学びあい・支えあうキャンパス環境づくりの促進を行っていききたい。

Ⅲ. 広報活動

本年度は、これまでの広報活動に加えて、留学生相談室の利用が促進されるよう、留学生相談室リーフレット（留学生支援事業）、留学生相談室・留学生センター国際交流活動リーフレット（全学同窓会大学支援事業）の作成を行った。また上述してきたように、身近に感じられる留学生相談室を目指し、留学生相談室内での相談活動だけでなく、留学生相談室の外での学生支援活動、授業、オリエンテーション等、発信型の留学生相談室活動を通じて、広報活動につとめた。今後はさらに、ホームページの充実化やメーリングリストの構築等、IT面での広報活動の強化に取り組んでいきたい。

Ⅳ. セミナー、地域連携、教職員のための研修・教育活動

【留学生と日本人学生のための合同セミナー】

10/20-21 日本学生支援機構（JASSO）東海支部「地球家族セミナー in a training camp」
JASSO 東海支部が開催した東海地区で学ぶ日本人学生と留学生の合同セミナーの企画から携わり、アイスブレイキング、グループ討論「幸せとは」、レクリエーション担当をつとめた。名古屋大学からも多くの学生たちが参加し、1泊2日の研修の中で深いレベルでの気付きや心の交流の機会を提供することができた。

2/28 学生相談総合センター「ピア・サポート養成講座：留学生の諸問題・留学生とのつきあい方」

【地域連携：多文化間相互理解ワークショップ（多文化間エンカウンターグループ）】

3/19-24 人間関係研究会「多文化間相互理解ワークショップ：多文化間エンカウンターグループ」ファシリテーター（関西大学セミナーハウス）

【教職員のための研修・教育活動（SD・FD活動）】

本年度は新たな試みとして、留学生相談室において、留学生支援や異文化コミュニケーションについて学びあう勉強会（留学生相談室スタディーグループ）を学内外の教職員、大学院生を対象に開催した。またJAFSA（国際教育交流協議会）の研修、名古屋大学高等教育研究センターの英語による授業方法のFD活動、国際企画室によるミネソタ大学との職員交流プログラム作りに協力し、幅広いSD・FD活動に取り組んだ。

2007年度 留学生相談室スタディーグループ

留学生相談室スタディーグループは、学内において留学生支援や異文化コミュニケーション分野について学ぶ機会を希望する声が基になり、有志で始まった。現在では、毎回5～10名の学内外の教職員、大学院生等が参加し、主に関連分野の文献輪読会を行ってい

る。時には話題提供として、卒業生等が自らの日本での留学・就職体験を共有することを通して、教職員が学ぶ機会を得ている。また、スタディーグループでは、普段の業務や活動に必要な情報交換の場だけでなく、セルフ・ケアとして必要なサポートを提供しあうことができる場となっており、留学生支援や国際交流活動に関わる教職員・大学院生などにとって、有益な勉強会となっているといえる。今後は、さらに関心のある参加希望者に声をかけ、勉強会の発展を目指していきたいと検討している。

その他の SD・FD 活動

- ・名古屋高等教育研究センター
「英語で教える秘訣:大学教員のための教室英語ハンドブック」(株式会社アルク) 協力
「英語による授業実践 DVD」協力
- ・NAFSA 全米年次大会ワークショップ (5/29, ミネアポリス)
Japanese Student Advising and Beyond: Empowerment Process toward Global Citizenship (ハワード・カツヨ, 塚田英恵, 堀江未来, 平井達也, 高木ひとみ)
- ・JAFSA (国際教育交流協議会) 中上級研修 (8/2-4, 立命館 APU 大学)
「異文化オリエンテーションのデザインと運用」コース担当 (堀江未来・高木ひとみ)

- ・COISAN (国立大学留学生指導研究会) 「次世代の留学生アドバイザー」(2/1, 京都大学)
話題提供「留学生アドバイザーの教育と養成: ミネソタ大学・名古屋大学のケースから」(高木ひとみ)

おわりに

本報告で記した名古屋大学留学生相談室の取り組みについて、筆者はミネソタ大学で開催された第10回国際カウンセリング大会において報告する機会をえた。同大学は、筆者が2002年から2005年にかけて、大学における留学生相談活動の基本理念と実践方法を学んだ場所である。参加者から寄せられたコメントや助言のなかで、とくに印象的であったのは、筆者をミネソタ大学と名古屋大学の“Bridge Builder”として評価いただいたことである。

ミネソタ大学は留学生支援についてアメリカのなかでも先進的な取り組みを進めている大学として知られており、本報告で記した活動の多くは同大学の活動からヒントをえている。とりわけ、ミネソタ大学でも成果をおさめている「発信型の学生支援」を本学で開始して2年半、着実に学生のあいだに定着、浸透してきたという感触がある。しかしながら、両校における留学生支援のあり方にはいくつかの文化差があることも事実である。とくに、名古屋大学の留学生相談室が支援する学生は留学生だけではなく、留学および国際交流に関心をもった日本人学生も含まれている。そのため本室が提供する教育プログラム(コーヒーアワー、ディスカッショングループ等)への参加を日本人学生

2007年度 留学生相談室スタディーグループ

第1回	8月7日	オリエンテーション
第2回	8月21日	「留学生」(松浦まち子)『学生のための心理相談: 大学カウンセラーからのメッセージ』(鶴田和美〈編〉) 輪読会①
第3回	9月4日	韓国人留学生の留学生活・卒業後の活躍を知ろう 話題提供: 崔宰赫氏
第4回	9月18日	「留学生」(松浦まち子) 輪読会②
第5回	10月30日	「留学生に対する心のケアの意義と重要性」(水野治久)『留学交流』 輪読会
第6回	11月20日	「人間関係力」『多文化社会の人間関係力: 実生活に生かす異文化コミュニケーションスキル』(八代京子・山本喜久江) 輪読会①
第7回	12月18日	「自己受容・自信」(八代京子・山本喜久江) 輪読会②
第8回	1月29日	「感情管理・判断保留」(八代京子・山本喜久江) 輪読会③
第9回	2月26日	「感情管理・判断保留」(八代京子・山本喜久江) 輪読会④
第10回	3月25日	「レヌカの学び: 自分の中の異文化に出会う」 話題提供: 留学生相談室 齋藤さくら氏

からも募り、留学生センターとも連携をはかることで、キャンパスの国際化を推進するプログラムとして拡充につとめてきた。このことは名古屋大学の環境に即した取り組みといえる。

今後も協力してくださる教職員や学生の声やニーズを聞きつつ、自分自身が Learner であるという視点

を忘れることなく、名古屋大学のニーズにあった留学生・学生支援に取り組んでいきたいと思う。また、留学生アドバイジング・カウンセリング、および相談体制のあり方について研究を深め、積極的に成果を発信することで、さらに多くの理解と協力をえられるようにしたい。

国際交流活動リーフレット

その他の国際交流関連
学内サークル・グループ
Other International Exchange Student Groups on Campus

NUFSA 名古屋大学留学生会
Nagoya University Foreign Students Association

名古屋大学の留学生や日本人学生など多様なメンバーで構成されている留学生会で、名古屋大学留学生会として留学生生活を送るサポートしたり、様々な国際交流イベントを行っています。

This is a student body organized under a set of structures, which aims to create an enjoyable study environment for international students enrolled at Nagoya University. Many events are organized every year.

URL <http://nufsa2007.googlepages.com/>

異文化交流サークルACE
Action Group for Cross-Cultural Exchange

ACEでは、「交流・架け橋・ボランティア」の精神で活動を行っています。ACEの最も重要な活動は、毎年4月と10月に名大に来る留学生の受け入れをすることです。その他にも、一年を通じて留学生と関わるようにイベントを企画しています。

The soul of the activities of ACE is reflected in the keywords, "exchange", "bridge", and "volunteering". The most important activity of the year is the arrival support of new international students in April and October. Also, we organize various cultural exchange activities annually.

URL <http://www.afsa.ecis.nagoya-u.ac.jp/~ace/>

Feed Forth Conference

フィードフォースは名古屋大学の大学院生が主催している国際学会です。分野の違う専門家たちが対話・コラボレーションできる機会を模索するために作られました。ぜひ一度www.feedforth.orgをご覧ください。

Feed Forth is an international conference organized by graduate students of Nagoya University. Feed Forth was created to explore opportunities for academic dialogue and collaboration between researchers in different fields.

We invite you to visit us at www.feedforth.org.

● Information ●
お知らせ

留学生センター主催プログラム
ワークショップ「日本社会を知ろう」

日本社会について共に考えるワークショップ(日本語・英語併用)を行っています。学内外の講師や、世界各地の参加者と意見交換し、日本文化に触れながら交流する機会です。
* 日本人学生・スタッフの参加も歓迎しています！

申込み 留学生センター相談室(204号室)
Email adv@ecis.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html>

Workshops:
Bridge to the Japanese Society

ECIS Advisors' Office organizes workshops in English and Japanese on topics related to Japanese society and culture. These workshops provide an excellent opportunity to exchange opinions with lecturers from on and off the campus, and other participants from various parts of the world. We also welcome participation of Japanese students and staff.

Application ECIS Advisors' Office(#204)
E-mail adv@ecis.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html>

地球がキャンパス！
海外留学室・Study Abroad Office

留学生センター海外留学室では、留学計画を将来設計の一部ととらえ、一人一人の希望にあった形の留学を自分で実現できるよう、様々なサポートをしています。留学したいと思ったら、まずは海外留学室へどうぞ。

URL <http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/abroad/> (Japanese only)

Please visit the Study Abroad Office (ECIS) for inquiries about going abroad for academic purposes.
We offer various information and advising services to help students find most suitable opportunities and solutions for their study abroad interests.

留学生センター (Education Center for International Students)
<http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp>

留学生相談室 (International Student Advising Office)
<http://www.isa.provost.nagoya-u.ac.jp>

2008.March

学生スタッフ
随時 募集中
Join us now!

Nagoya University
ECIS & ISA Office

International Exchange Activities

名古屋大学留学生センター & 留学生相談室
国際交流活動の紹介

名古屋大学では
キャンパスの
国際交流をもっともっと
活発にするために
学生が主体となって
様々な交流活動をしています。
そんな活動と一緒に
サポートしてくれる
仲間を募集しています。
あなたのご参加を
お待ちしております！！

Supported by
留学生センター
&
留学生相談室

国際交流活動紹介
Activity introduction

1. 国や文化、学部と世代を超えた
様々な人たちの交流ができる！
You can interact with people across
borders like one's country, culture,
university department or generation!

2. コミュニケーション力・企画力・
リーダーシップが身につく！
You can develop your communication,
event planning, and leadership
skills here!

3. 新しい自分と出逢える！
You can encounter your new self here!

学生パートナーシッププログラム

活動 パートナー登録をした異文化交流に興味のある留学生と日本人学生を双方に紹介したり、イベント情報を提供するなど、交流のきっかけを提供しています。交流のスタイルは自由です。

登録 留学生センター相談室(204号室)・海外留学室(105号室)で随時受け付けています。

URL <http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/exchange/partnership.html>

Student Partnership Program

This program introduces international and Japanese students interested in cross-cultural exchange to each other to meet on a one-to-one basis, or provides the registered students with information about other programs to offer various opportunities for them to meet new friends.

Registration ECIS Advisors' Office (#204) and Education Abroad Office (#105), throughout the year

URL <http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/partnership.html>

留学生センター ヘルプデスク 学生サポーターチーム

活動 新入留学生のために、新学期開始後3週間留学生センター1階のラウンジでサポート活動を行っています。留学生が気軽に立ち寄ることのできる場を共に提供する学生ボランティアを募集しています！

* 留学生との出合いの場や交流のきっかけになるようなイベントも開催しています。

登録 留学生センター短期留学部門 E-mail yamada@ecis.nagoya-u.ac.jp

ECIS Help Desk Students Support Team

Help Desk provides support to newly arrived international students for the first three weeks at the start of the semester. Many students drop by the desk at the ECIS lounge and ask various questions during the Help Desk period. Get a head start on meeting new friends by joining Help Desk!

* Also, interesting events are organized for both Japanese and international students. It is a great chance to learn about new cultures by meeting new students.

Contact ECIS NUPACE Office E-mail yamada@ecis.nagoya-u.ac.jp

スモールワールド・コーヒーアワー 学生スタッフチーム

活動 コーヒーやお茶を片手にリラックスした雰囲気の中で留学生と日本人学生が出会い、気軽に話せる国際交流の場を毎月(学期中)開催しています。楽しい文化交流の場を一緒に作ってくれる仲間を募集中です！

問い合わせ 留学生相談室740号室(旧電子館西棟7階)
E-mail takaki@ecis.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.isa.provost.nagoya-u.ac.jp/program/smallworld.html>

Small World Coffee Hour Team

Every month, during the school year, this event provides an informal atmosphere in which to meet both international and Japanese students who share your intercultural interests. Come and enjoy coffee, tea, snacks and great conversation! We are always looking for student volunteers who would like to help organize this program in our small world coffee hour team.

Contact International Student Advising Office (ISA Office) IB Building West Wing #740
E-mail takaki@ecis.nagoya-u.ac.jp

Language Shower 学生スタッフチーム

活動 何年も学習している外国語なのに自信を持って使えない。第2、第3の外国語をもっと使いたい。そんな要望に応えるためのプログラムです。間違いを恐れずに話し、聞き、楽しみましょう。プログラムを企画運営する学生ボランティア募集中。

問い合わせ 留学生センター相談室 E-mail adv@ecis.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html>

Language Shower

This program is designed for those who are not confident of their command over foreign languages, or want to use them more. Let's enjoy conversation in foreign languages without worrying about making mistakes. We are always recruiting student volunteers who would like to organize the program and facilitate conversations in languages that can be used during the sessions.

Contact ECIS Advisors' Office (#204) E-mail adv@ecis.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/en/exchange/workshop.html>

多文化間ディスカッショングループ

活動 留学生と日本人学生などが定期的に同じメンバーで集まり、文化に関することや異文化体験、そして日頃考えていることをテーマとしてリラックスした雰囲気の中で話し合います。毎学期初めに、参加学生を募集しています。またグループ運営に関わる学生ファシリテーター(司会・進行役)を募集しています。

問い合わせ 留学生相談室740号室(旧電子館西棟7階) E-mail takaki@ecis.nagoya-u.ac.jp
URL <http://www.isa.provost.nagoya-u.ac.jp/program/disgroup.html>

Cross-Cultural Discussion Group

This group program of international and Japanese students provides a relaxed atmosphere for sharing cross-cultural experiences, personal thoughts and ideas. Group members meet regularly. New groups are formed every semester, so if you would like to join, please contact the ISA office at the beginning of the semester. We are also recruiting student facilitators who would like to lead their group.

Contact International Student Advising Office (ISA Office) IB Building West Wing #740
E-mail takaki@ecis.nagoya-u.ac.jp

多文化グループでの
ディスカッションを通して、
互いの文化と心の
交流を楽しもう！

- 150 -